

## 高等学校教諭へのヒアリング結果について（概要）

### ○目的

学校現場の社会保障の教育に関する実態や課題意識、厚労省で作成した教材の問題点等を確認・把握し、効果的な社会保障教育の全国展開に向けた方策検討に役立てる。

### ○対象・手法

高等学校教諭計 18 名に対し、直接または郵送にて実施  
（地域社会保障教育推進事業の実施校で社会保障教育の実践経験がある方 16 名と検討会委員 2 名）  
（内訳：公民科 11、家庭科 5、保健体育 1、総合学習等担当 1）

### ○項目

#### 1. 社会保障の教え方について

- 現状の使用コマ数や授業展開の工夫等について

#### 2. 現在使用されている教科書の社会保障関連部分について

- 教科書の内容のうち、重点的に教えるべき点や教えることが難しいと感じる点等について

#### 3. 厚生労働省作成の教材について

- 内容、使い勝手、要改善点等について

#### 4. 社会保障に関する映像教材について

- 授業で使いやすい映像教材の内容や長さ等について

#### 5. 体験学習との連携について

- 体験学習の実施状況や実施に際するハードル等について

## 質問項目一覧

<b>1. 社会保障の教え方について</b>	
①	使用コマ数
②	社会保障を教えるのに最大使えるコマ数
③	教科書以外に使用する補助教材や新聞記事
④	これまでに役立ったと思うホームページ、書籍、セミナー等
⑤	授業の展開方法
⑥	生徒の関心を惹き、自ら考えさせるために工夫していること
⑦	討論やワークショップなど、講義形式以外の学習時間
⑧	社会保障の授業は誰が行うと効果的か
⑨	どの教科・科目で教えるのが適当か。また、望ましい教科間連携は。
<b>2. 現在使用している教科書について</b>	
①	教科書の内容のうち、重点的に教えるべき点
②	教科書の記載をより充実して欲しい点
③	教科書の内容のうち、教えることが難しいと感じる内容
④	どのような教科書が授業で使いやすいか
⑤	社会保障部分の記載について適当だと思う分量
<b>3. 厚生労働省作成の教材について</b>	
①	分量やレイアウト等の感想
②	実際に使いやすい適切なボリュームは
③	難しい、使いづらいと思う設問とその理由
④	使いやすい、使ってみたいと思う設問とその理由
⑤	使いやすい教材の形式
⑥	教材活用マニュアルの要改善点等
⑦	教材の媒体形式と入手方法の望ましい形
<b>4. 社会保障に関する映像教材について</b>	
①	望ましい内容とその理由
②	望ましい長さ
<b>5. 体験学習との連携について</b>	
①	体験的な学習を行っているか
②	体験的な学習を実施したいか
③	体験的な学習を実施するためのハードル

## ヒアリング結果概要

### 1. 「社会保障」の教え方について

	質問内容	結果概要
①	使用コマ数 (1コマ=50分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんど教えていない：1</li> <li>・1コマ：4</li> <li>・<u>2コマ：8</u></li> <li>・3コマ以上：5</li> </ul>
②	最大使えるコマ数	ア 0.5コマ(25分)程度：0 イ 1コマ程度：1 ウ <u>2コマ程度：10</u> エ 3コマ以上：7
③	補助教材、新聞記事を使用しているか	<p>○補助教材</p> <p><u>使用している：12</u></p> <p>使用していない：5</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【使用している補助教材の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新しい家庭経済授業プラン(生命保険文化センター)」</li> <li>・「これであなたもひとり立ち(知るぽると)」</li> <li>・「知っておきたい働くときの基礎知識(社労士会連合会)」</li> <li>・教科書付属の資料集</li> <li>・雑誌等</li> <li>・海外の社会保障の実態(自作)</li> </ul> </div> <p>○新聞記事</p> <p><u>使用している：8</u></p> <p>使用していない：5</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【新聞記事の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会保障ナビ(読売新聞)」</li> <li>・テーマを決めてノートにまとめさせている</li> <li>・生活保護の不正受給に関するもの</li> </ul> </div>
④	その他、役に立ったホームページ、セミナー他	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生命保険文化センターHP「教育の現場から」</li> <li>○金融広報中央委員会HP「知るぽると」</li> <li>○『困っているひと』(大野更紗著 ポプラ社)</li> </ul>

	質問内容	結果概要
⑤	社会保障授業の展開方法 (※複数回答可)	<b>ア 講義中心：15</b> イ ワークショップ：5 ウ 討論・ディベート：3 エ 発表：1 オ その他：3  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             【その他】・映像+質疑 ・小論文の提出 ・パワーポイント資料映写           </div>
⑥	生徒の関心を惹き、自ら考えさせるために工夫していること	<b>【主な意見】</b> ○実物を使用する（給与明細、源泉徴収票など） ○自分の実際の社会保険料を生徒に知らせる ○夏休み等、事前に関連記事のスクラップをさせ、意識を高める ○生徒が人生をどう考えるかということを引き出すような題材を使う。 （中途退学せざるを得ない高校生、就職問題、介護問題等） ○家族のこと等に置きかえて考えさせる ○例え話やクイズ、身近な事象を取り上げる ○新聞記事の事例で考えさせたり、論述させる ○グループ学習等で意見を出し合う ○生きていく上で必要な最低限の知識ということを具体的事例で説明 ○自分の税金の使われ方と関連づける
⑦	講義形式以外の学習時間	ア 15分以下：0 イ 15～30分程度：6 <b>ウ 30～50分程度：9</b> エ 時間を確保することは難しい：1 オ その他：2  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             【その他】・必要な分だけ確保する ・クラスの人数によって1～2コマ           </div>

	質問内容	結果概要
⑧	授業は誰が行うと効果的か	<p>ア 教科担当の教師：4 イ 外部講師：0 ウ <u>教員と外部講師との連携：13</u></p> <div data-bbox="544 477 1386 880" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【効果的な連携に関するコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事項は教師。現実の社会保障のあり様や専門的なことは外部講師が担当することで理解が深まる</li> <li>【どんな外部講師が望ましいか】</li> <li>・事前の打ち合わせがしっかりできる人</li> <li>・出前授業や講演に慣れた方。生徒に合った話し方ができる方</li> <li>・社労士、福祉事務所・福祉施設等関連産業の経験者</li> <li>・学校がある地域など身近な存在の中から、医療・介護等に携わる人</li> <li>・学校内で介護経験ある人に話をきくだけでも十分な効果</li> </ul> </div>
⑨	<p>どの教科・科目が適切か。</p> <p>(※複数回答可)</p>	<p>ア <u>現代社会：16</u> イ <u>政治・経済：13</u> ウ 倫理：2 エ <u>家庭科（家庭総合、家庭基礎、生活デザイン）：12</u> オ <u>総合的な学習の時間：8</u></p> <div data-bbox="544 1223 1386 1408" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【総合的な学習の時間についての主なコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像教材があれば使われやすい</li> <li>・ロングホームルームと合わせれば2コマ使える</li> <li>・教科で時間が確保できなくてもここで確保しやすい</li> </ul> </div> <p>カ その他科目：3</p>
	教科間で連携をとっているか	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現実的にはなかなか難しい。指導内容の重複部分の確認は担当者によっては実施している</li> <li>○特にとっていない（複数）</li> </ul>
	望ましい教科間連携は	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲストティーチャー方式：例えば現社の授業に家庭科の先生を呼ぶ、介護など社会保障にまつわる経験がある先生を呼ぶなど</li> <li>○現社と家庭科：公民分野の視点だけでなく家庭科の視点が加われば社会保障をより身近に感じさせることができる</li> <li>○公民科と総合学習：公民科で歴史や仕組み、総合で人生設計と絡め社会保障の位置づけを教える</li> <li>○小中学校段階では幅広い連携が必要。高校は公民科のみでも良い</li> </ul>

## 2. 現在使用している教科書について

	質問内容	結果概要
①	教科書の内容のうち重点的に教えるべきと考える点とその理由  (※複数回答可)	<p>ア 社会保障の歴史：4</p> <p><b>イ <u>社会保障の理念（幸福・正義・公正）：8</u></b></p> <p>ウ 社会保障の分類：4</p> <p><b>エ <u>年金や医療などの社会保険制度の内容：13</u></b></p> <p><b>オ <u>公的扶助、社会福祉、公衆衛生などの内容：8</u></b></p> <p><b>カ <u>社会保障の課題：13</u></b></p> <p>キ その他：1（→海外との比較）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆社会保障の理念（イ）関連               <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の健やかで安心できる生活を保障するようにできている理念を理解し、自分の生活に役立てるため</li> </ul> </li> <li>◆社会保障の内容（エ・オ）関連               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身の将来に直接関係することだから</li> <li>・自分の国の社会保障の意義・内容は知っておくべき</li> <li>・歴史よりも現状を知ることが重要</li> </ul> </li> <li>◆社会保障の課題（カ）関連               <ul style="list-style-type: none"> <li>・あるべき日本の姿を構想するため</li> <li>・少子高齢社会について真剣に考えることは必要</li> <li>・社会保障制度がこのまま維持できるのか、財源は、課題が山積なので</li> </ul> </li> <li>◆その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全部重要。小中高の各段階で体系的に学べるようにすべき</li> <li>・時間的に全部は無理。大事なこと（理念と課題）に絞るべき</li> <li>・ア～オは概要が分かるように。その上で課題を重点的に考えるべき</li> </ul> </li> </ul> </div>
②	教科書の記述をより充実させてほしい点  (※複数回答可)	<p>ア 社会保障の歴史：0</p> <p>イ 社会保障の理念（幸福・正義・公正）：3</p> <p>ウ 社会保障の分類：3</p> <p><b>エ <u>年金や医療などの社会保険制度の内容：11</u></b></p> <p>オ 公的扶助、社会福祉、公衆衛生などの内容：5</p> <p><b>カ <u>社会保障の課題：11</u></b></p> <p>キ 特になし：3</p> <p>ク その他：1（→教科書ではなく資料集に色々入れると良い）</p>

	質問内容	結果概要
③	教科書の内容のうち教えるのが難しいと感じる点とその理由  (※複数回答可)	ア 社会保障の歴史：1 イ 社会保障の理念（幸福・正義・公正）：3 ウ 社会保障の分類：0 <b>エ 年金や医療などの社会保険制度の内容：11</b> オ 公的扶助、社会福祉、公衆衛生などの内容：3 <b>カ 社会保障の課題：9</b> キ その他：1  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆社会保障の内容（エ）関連               <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容が複雑、改正が多い（複数）</li> <li>・年金は遠い先のことなので身近な問題としてとらえにくい</li> <li>・生徒は自分が負担者でも受給者でもないと思っているので制度への距離感がある</li> </ul> </li> <li>◆社会保障の課題（カ）関連               <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題がとても多く、実感を持たせにくい</li> <li>・高校生は負担について義務感を持たない</li> </ul> </li> <li>◆その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を使って話をしても、表面的で自分の問題として考えにくい</li> <li>・教科書以前の問題。社会保障が国民にそもそもほとんど周知されていない。自分も教わった記憶がない</li> </ul> </li> </ul> </div>
④	どのような教科書が授業で使いやすいか	ア 文章を中心として、受験や定期試験で問われる用語が多く盛り込まれているもの：1 <b>イ 文章だけでなく、分かりやすい図表も掲載し、双方を活用して理解を目指せるもの：10</b> ウ 文章や図表以外に、ワークショップ形式の問題など、生徒自身に考えさせる内容を含むもの：6 エ その他：1
⑤	教科書の社会保障部分の記述はどのぐらいの分量が適切か	ア 1ページ程度が望ましい：0 イ 2ページ程度が望ましい：2 <b>ウ 4ページ程度が望ましい：11</b> エ 6ページ程度が望ましい：1 オ その他：3 （→一分野確立させて一冊にすべき）

### 3. 厚生労働省作成の教材について

	質問内容	結果概要
①	レイアウト等の感想	(×：否定的な感想 ○：肯定的な感想) × 難解な表現が多い × 分量が多い、詰め込み過ぎ × B4の方が良い × 白黒でも見やすいような配慮を ○ 見やすい。取り組みやすい ○ 伝えたい内容の分量からいうとこの程度が適当 ○ 生徒に興味を持たせるよう工夫されていると思う ○ イラスト多く、見出しも大きくて読みやすい
②	使いやすい、適切なボリュームは	ア A4で1枚程度（問題数にして2, 3問）：5 <b>イ A3で1枚程度（問題数にして4, 5問）：8</b> ウ その他：4（→B4で）（→1冊必要）
③	難しい、使いづらいと思う設問とその理由	◆「政府の役割と社会保障」 ○市長になって考えさせる設定は高校生には難しいのでは。これだけで1コマ必要 ◆「公的医療保険って何？」 ○「加入診査あり」という記載だけで高齢者や持病がある人が「プレミアムプランに加入が（できない）」と答えさせるのは高度 ◆その他全般的な意見 ○問題文の設定の仕方が悪い。「どうしたら良いか？」「なぜか？」は答えにくい。問いを分けずに「また、その理由は？」と続けると混乱する生徒もいる ○家庭科のアプローチとは若干異なる。例が分かりにくい ○全体的に平均化されているので特にない
④	使いやすい、使ってみたいと思う設問とその理由	◆「政府の役割と社会保障」 ○「政府の役割」「社会保障の役割」→導入として使いやすい ○「税や社会保険料について知ろう」→線で結ぶ方式は良い ○ファクトシートの「ライフサイクルで見た給付と負担のイメージ」→遠い将来のことに捉えている社会保障を現役世代、若者も負担の面などで関係があるということをイメージさせやすい ◆「公的医療保険って何？」 ○「公的医療保険の意義」→順に基礎知識を得て、自分の意見まで自由に展開できる ◆その他全般的な意見 ○官公庁作成という点でファクトシートは貴重 ○全体的に平均化されているので特にない

	質問内容	結果概要
⑤	使いやすい教材の形式	<p>ア 事実の記述（教科書形式）： 1</p> <p><b>イ <u>クイズ・質問形式（選択式）： 1 4</u></b></p> <p>ウ クイズ・質問形式（記述式）： 8</p> <p><b>エ <u>物語仕立て： 1 1</u></b></p> <p>オ その他： 1（→自分たちで課題を考え、表現させるスタイル）</p>
⑥	マニュアルについて使いづらい点、改善点等	<p>○分量が多く、見にくい</p> <p>○教科書の内容との関係を入れて欲しい</p> <p>○知識を身につけるといふ従来の教科書的発想であり、もっと真剣に子どもたちに考えてもらうには、という工夫に欠ける</p> <p>○ワークシートとファクトシートを分かりやすく提示してほしい</p>
⑦	入手方法の望ましい形	<p>ア 紙媒体・PDF ファイル（現行スタイル）： 3</p> <p><b>イ <u>ワード・パワーポイントなど、加工可能な形式： 1 2</u></b></p> <p>ウ 映像教材を動画形式で： 4</p> <p>エ その他： 1（→カラー版を配布してくれるとありがたい）</p>

#### 4. 社会保障に関する映像教材を作成する場合の内容等

	質問内容	結果概要
①	どのような内容が望ましいか	<p><b>ア 社会保障を自分と関係あることとして捉えるための動機付けになる内容（ストーリー仕立ての展開など：17</b></p> <p>イ 医療・介護・年金など制度の内容の理解に役立つ内容（俳優が登場し制度の解説をするなど）：3</p> <p>ウ 映像教材は不要：0</p> <p>エ その他：1（→クイズ形式を活用）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入段階での視聴覚資料は必要。動機付けがはっきりとできれば授業の目標も設定しやすくなる</li> <li>○自分だったらどうなるのかイメージしやすい内容が良い</li> <li>○生徒の興味、関心を引き出せれば、効果的に学ぶことができる</li> <li>○権利と責任という大切な視点を理解させたい</li> <li>○身近でわかりやすい事例だと理解が促進される</li> <li>○高校生の視点で身近な人にかかわるストーリーが良い</li> <li>○安っぽいアニメは生徒にバカにされる危険性がある</li> <li>○ターゲットとするレベルを中堅以下に明確化すべき。（上位層は受験の関係でなかなか難しい）</li> </ul> </div>
②	長さはどのくらいが望ましいか	<p>ア 10分未満：1</p> <p><b>イ 10分以上20分未満：7</b></p> <p><b>ウ 20分以上30分未満：7</b></p> <p>エ 30分以上：1</p> <p>オ その他：0</p>

## 5. 体験学習との連携について

	質問内容	結果概要
①	体験的な学習を行っているか	<p>ア 行っている：4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○選択教科で人数が少ないなら実施可能。必修で人数が多いと困難</li> <li>○以下の実施経験あり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所訪問、保健医療センター交流、地域子育て支援広場訪問、地域の障害者自立支援センター訪問</li> <li>・高齢者疑似体験、車イス体験、点字体験</li> </ul> </li> <li>○以前は夏休みに希望者を対象に実施していた。学年全員となるとトップダウン方式で指示しないと実現は難しい</li> </ul> </div> <p>イ <u>行っていない：12</u></p>
②	体験的な学習を行うことについてどう考えるか	<p>ア 是非実施したい：2</p> <p>イ <u>実施したいが、担当教科の中では難しい：13</u></p> <p>ウ あまり実施の必要性は感じない：1</p> <p>エ その他：0</p>
③	体験的な学習を実施するための障害と考えられること	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○引率等の対応人員の確保</li> <li>○生徒数に応じた規模の受入先の確保</li> <li>○移動手段、移動に関わる費用、保険等の問題</li> <li>○移動も含めた（最低3コマ程度の）授業時間の確保</li> <li>○同じ教科を複数の教員で担当しているため、他の教員の賛同が得られなければ実施が困難</li> <li>○教師に余裕がない</li> <li>○生徒のマナー等</li> </ul> <p>【実施困難なことを踏まえた代案的な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○映像を通じた疑似体験が現実的と考える</li> <li>○税・社会保険料を計算させるなどの演習も有効</li> <li>○家庭科での実施例が多いが、校内で実施可能な高齢者疑似体験、車椅子体験、目隠し体験なども有効</li> </ul>